NEWS RELEASE
一般財団法人 長野経済研究所

2026年10月21日

産業別四半期見通し調査結果
（2026年10～12月期見通し）

■長野県産業天気図

◇2026年7～9月期の現況

- 全12業種中、「薄日（順調）」が4業種、「曇り（普通）」が6業種、「小雨（低調）」が2業種となった。

◇2026年10～12期の見通し

- 見通しは、「薄日（順調）」が4業種、「曇り（普通）」が6業種、「小雨（低調）」が2業種となった。方向感では、「やや上昇」が3業種、「横ばい」が8業種、「やや下降」が1業種となっている。

天気図記号	2026年 4～6月期現況	2026年 7～9月期現況	2026年 10～12月期見通し
晴れ（好調）	0 業種	0 業種	0 業種
薄日（順調）	1 業種	4 業種	4 業種
曇り（普通）	9 業種	6 業種	6 業種
小雨（低調）	2 業種	2 業種	2 業種
雨（不調 ）	0 業種	0 業種	0 業種

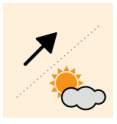
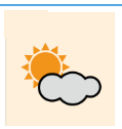
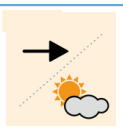
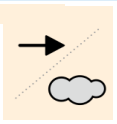
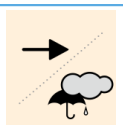
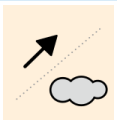
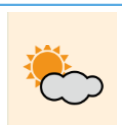
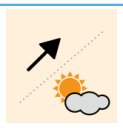
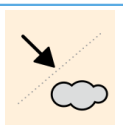
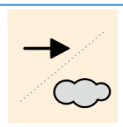
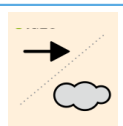
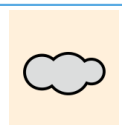
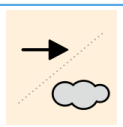
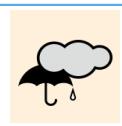
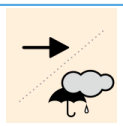
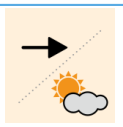
■10～12月期見通しのポイント

- 製造業、非製造業ともに天気マークに変化はない見通し。

照　会　先
一般財団法人 長野経済研究所
調査部（担当：粂井、須田）
TEL： 026-224-0501

＜産業別天気図一覧（12業種）＞

■ 調査内容：業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
■ 調査期間：2026年９月中旬～10月上旬
■ 調査回答企業：県内主要企業12業種の108社

業種	前期 （26年４～６月期）	今期 （26年７～９月期）	来期 （26年10～12月期）
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			

生産用機械　半導体・電子部品などのIT関連がけん引し受注は順調



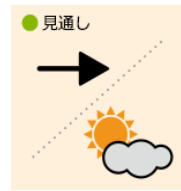


生産用機械の受注は、IT関連では、旺盛な需要が続いている人工知能（AI）サーバー向けを中心に好調だった。自動車関連では、設備投資抑制の動きが改善し、受注は持ち直しの動きがみられた。今後も、半導体を中心にIT関連では高水準が続くほか、自動車関連では持ち直しが続くとみられ、総じて受注は順調な見通し。ただ、リニアガイドやボールねじなどの基幹部品の納期が長期化しており、生産面への影響が懸念される。

- **工作機械**の受注は、国内では半導体関連が堅調で、自動車関連も持ち直しが続く見込み。海外では、中国は半導体関連、米国は半導体、航空宇宙関連を中心に好調とみられる。
- **半導体製造装置**の受注は、AIサーバー向けを中心に高水準が続く見通し。

電子部品・デバイス　AI関連投資の増加を追い風に順調





車載用は、バッテリー式電気自動車（BEV）需要の停滞を背景に受注は低調だった。一方、IT関連は人工知能（AI）サーバー向けの需要が大幅に増加したほか、産業用もそれに連動する形で設備投資が増加したため持ち直した。今後は、車載用ではBEV需要の低迷などから受注は弱い動きが続くとみられるが、全体としては増加するAI関連投資を追い風に順調な受注を見込む。

- **IT関連**は、AIサーバー向けの部品需要の増加により受注は好調な見通し。
- **産業用**は、設備投資の持ち直しを受けて受注は堅調に推移するとみられる。
- **車載用**は、BEV需要の停滞や中国メーカーとの競合等から受注は弱い動きが続く見込み。

自動車部品　熊本地震の影響等がみられたが、北米、国内向けを中心に需要は底堅い





国内向けは一部で熊本地震の影響を受けて出荷が滞ったものの、全体としては自動車販売の回復により底堅かった。北米向けはハイブリッド車（HV）を中心に堅調だった。一方、アジア向けはホルムズ海峡封鎖の影響で一部の出荷が停止するなど低調だった。先行きの受注は、アジア向けは低調な一方、国内、北米向けは堅調な見込みから、総じて底堅い見通し。

- **国内向け**は自動車販売が回復しているため底堅い見込みのほか、**北米向け**もHVなど日系完成車メーカーの販売が堅調なことから、受注は底堅い見通し。
- **中国向け、東南アジア向け**は、中国メーカーとの競合激化などから低調な見込み。**西アジア向け**も、情勢不安の影響から総じて受注は低調な見通し。

飲料製造　製品価格が高値圏で推移し、需要は低調





消費者の節約志向が継続する中、包装資材や物流費などのコスト上昇を背景に、製品価格の上昇が続き、飲料の需要は低調だった。今後も、製品価格が高値圏で推移することから、需要は低調に推移する見通し。

- **果汁ジュースなどの清涼飲料**は、果樹の収穫量は前年を上回る見込みだが、原材料価格や容器代などのコスト上昇を背景に値上げが続き、需要は低調な見通し。
- **アルコール飲料**については、**清酒**の需要は弱いが、酒造好適米価格の値下がりが見込まれ、利益は改善する見通し。**ワイン**の需要は横ばいだが、包装資材やブドウの買取価格などの上昇により、利益は減少する見込み。

食料品製造　製品価格の引き上げで、利益は持ち直す





家庭用は、健康志向の製品を中心に内食需要が堅調なほか、業務用も調理の手間を省く製品を中心に底堅かった。今後も、内食需要を中心に堅調さが続く見込み。また、包装資材などの価格上昇は続くが、製品価格の引き上げが進むことで利益は持ち直す見通し。

- **味噌などの調味料**は、無添加や液体タイプなどの製品を中心に需要は堅調な見通し。また、原料米の値下がりで利益は持ち直す見込み。
- **ソースなど**は、節約志向を背景に家庭向けPB製品を中心に受注は堅調な見込み。
- **乾燥食品など**は、宿泊施設向けの時短につながる製品を中心に受注は底堅い見込み。
- **加工肉や総菜・弁当など**は、製品価格上昇に伴い、需要は弱含む見通し。

機械器具卸　機械需要、建設･電設資材需要共に順調





機械需要は、半導体関連向けが増加したほか、自動車関連向けも持ち直しの動きがみられ、総じて順調だった。また、建設･電設資材の需要も、工場や事業所などの民間の建築工事を中心に堅調に推移した。今後も、機械需要、建設･電設資材の需要ともに順調な見通し。

- **工作機械など**の機械需要や**制御機器などのFA機器**の需要は、半導体関連がけん引し順調な見込み。また、省力化ニーズも引き続き高く、需要を下支えする見通し。切削用工具類などの**消耗品受注**は、ユーザー企業の安定した生産活動が見込まれ、堅調な見通し。
- **建設・電設資材**の取扱量は、民間の建築工事に加え、工場や事業所などにおけるLED照明器具への更新需要を中心に、順調な見込み。

大型小売　売り上げの堅調さが続くが、コスト上昇が利益を下押し





飲料や調味料などの食料品を中心に販売単価の上昇が続き、売り上げは前年を上回った。今後も、販売単価の引き上げが続くことから、売り上げは堅調な見通し。一方、人件費や光熱費などのコスト上昇が利益を下押しする見込み。

- **百貨店**は、節約志向が強まる中で衣料品が弱含む一方、食品は堅調なことから、売り上げは前年並みを確保する見通し。中でも、おせちは品揃えの充実により、販売増加を見込む。
- **スーパー**は、買い上げ点数は減少するものの、販売単価の引き上げによって売り上げは堅調に推移する見込み。ただ、近隣店との価格競争が激化する中、人件費や光熱費などのコスト上昇分の転嫁は一部に留まる見通し。

自動車販売　買い替え需要が見込まれ、販売は底堅さが続く





新車販売は、新型車の投入や燃費性能などに応じた課税「環境性能割」の廃止による購入者負担の軽減が追い風となり、販売台数は前年を上回った。中古車販売も新車販売の回復に伴い下取り車が増え、底堅く推移した。一方、輸入車は、車両価格の上昇などから購入の先送りがみられ弱含んだ。今後も新型車を中心に買い替え需要が見込まれ、総じて底堅い見通し。

- **新車販売**は、新型車の投入が一巡した軽自動車は伸び悩むものの、スポーツ用多目的車（SUV）タイプの普通車や小型車の販売が底堅い見込み。
- **中古車販売**は、年式の新しい小型車を求める需要が根強く、堅調な見通し。
- **輸入車販売**は、新型車の投入が需要を喚起し、持ち直す見込み。

公共工事　公共施設や道路の改修工事を中心に堅調な工事量を維持



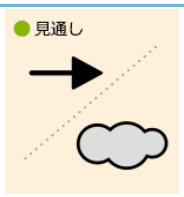


公共施設の改修工事やリニア中央新幹線に関連した土木工事などにより、安定した工事量となった。今後も防災・減災を目的とした河川・治山工事や施設の長寿命化修繕工事などの発注が見込まれ、堅調な工事量となる見通し。

- **国**では、三遠南信自動車道関連の道路工事や河川の防災・減災工事などが見込まれ、底堅い工事量が続く見通し。
- **県**では、道路拡張工事や治水・治山工事のほか、公共施設の改修工事を中心に堅調な工事量となる見通し。
- **市町村**では、学校の長寿命化修繕や道路整備を中心に、安定した工事量が見込まれる。

民間工事　民間企業の建設投資を中心に工事量は底堅い





民間企業の建設投資は、製造業で工場を新増設する動きなどがみられ、安定した工事量となった。新築住宅は資材価格の高騰などによる建築コスト上昇の影響に加え、住宅ローン金利の上昇から受注が減少し、総じて着工戸数は低調に推移した。今後も建設コストの高止まりが続く見通しだが、企業の建設投資やリゾート開発などで底堅い工事量を見込む。

- **民間企業の建設投資**は、工場の新増築や店舗の新築に加え、白馬・軽井沢などでのリゾート開発を中心に安定した工事量を見込む。
- **住宅関連**は、中古住宅や分譲住宅の販売、リフォーム需要は堅調なものの、建築コスト高や住宅ローン金利の上昇により注文住宅の受注は減少し、着工戸数も低調な見通し。

貨物　厳しい収益環境が続き業況は低調



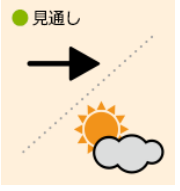


工業製品は、海外向けの大型機械などを中心に荷動きが低調だったほか、一部で自然災害などの影響により出荷が制限された品目もあった。食品・雑貨類は、物価高による買い上げ点数減少の影響もあり、貨物量は伸び悩んだ。さらに、人件費や車両の購入費・整備費などの経費の増加も続き、利益を下押しした。今後、順調な人工知能（AI）関連製品などの荷動きは増加が見込まれるものの、厳しい収益環境が続き、総じて業況は低調に推移する見通し。

- **工業製品**は、設備関連や海外向けの製品などが伸び悩むも、AIや半導体関連の機械・部品は出荷が上向き、貨物量は横ばいで推移するとみられる。
- **食品や雑貨類**は、物価高を背景に年末に向けた需要は盛り上がりを欠く見通し。

観光　秋冬の旺盛な需要を取り込み順調





夏季の行楽シーズンは、天候不順の影響はあったものの、避暑需要を取り込み利用は順調だった。特にインバウンドでは、複数地域を周遊する観光客の増加がみられた。今後は、秋季の行楽やウインタースポーツによる旺盛な観光需要を取り込み、利用は順調な見込み。

- **旅客**は、山岳観光やウインタースポーツなどの利用が順調に推移する見通し。タクシーは、運賃改定による収益改善が図られる一方、バスは、ドライバー不足により需要を取りこぼす懸念がある。
- **宿泊施設**は、食材費や光熱費などのコスト上昇が利益を押し下げる要因となるものの、宴会需要や国内外からの観光需要を取り込み、堅調な見通し。